



東村山市子ども読書活動推進計画

第3次（平成27年度～32年度）

進捗状況報告 12 『きょういく東村山』より 「多言語・多文化を意識した取り組み」



外国にルーツを持つお子さんへの読書支援や、本を通して多様な文化を理解し合うための取り組みをご紹介します。

市立図書館の外国語資料コーナーには、英語、中国語、韓国・朝鮮語などの本や、日本語を学ぶ人向けの本があり、利用は年々増えています。

「中国語の絵本で日本語併記のものはないか」「会話の助けになるように絵が付いている和英辞典を借りたい」「日本語がまったくわからない生徒がいるので、写真の多い本や図鑑を借りたい」など、保護者や学校から様々な相談をいただき、その都度要望に沿うような資料を提供してきました。

更に、市民相談・交流課と協力して行った「多言語おはなし会」では、多言語での手遊びや読み聞かせを楽しんでもらい、またボランティアグループ「おはなし宅配便ポポ」と一緒に開催した「馬頭琴コンサートと読み聞かせ」では、馬頭琴の生演奏と大画面での読み聞かせで、モンゴル民話『スーホの白い馬』の世界を感じてもらうことができました。

第3次東村山市子ども読書活動推進計画の進捗状況としては最後の回になり、次回は、現在策定中の第4次計画について報告することになります。

引き続き、子どもの読書環境を整備し、たくさんのお子さんに読書の楽しさ・大切さを伝えることができるように、関連機関や市民と連携しながら、読書推進事業を進めていきたいと思っております。



多言語おはなし会 英語で読み聞かせ

『きょういく東村山』第83号より

令和2年12月15日号